# 生涯学習事業実践事例集

~自治振興センターで行う生涯学習事業~ (平成26年度事業)















## はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興センターにおいて実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

## 目 次

## 各施設実践事例書

庄原t	地域			
庄	原	自治振興センター	【陶芸教室】	1
高		自治振興センター	【里山ふれあい活動】	2
本	村	自治振興センター	【男性料理教室】	3
峰	田	自治振興センター	【里山塾】	4
敷	信	自治振興センター	【「出逢い」応援大作戦】	5
東		自治振興センター	【ござれ市】	6
Щ	内	自治振興センター	【山内男性料理教室】———————	7
北		自治振興センター	【水辺教室】	8
西城地	地域			
西	城	自治振興センター	【スポーツ吹き矢】	9
八	鉾	自治振興センター	【健康百貨店】	10
東城地	也域			
東	城	自治振興センター	【しごんぼ隊】	11
小块	叹可	自治振興センター	【地域づくり視察研修旅行】------	12
八	幡	自治振興センター	【八幡の収穫祭】	13
田	森	自治振興センター	【粟田放課後子供教室交流】——————	14
帝	釈	自治振興センター	【第35回帝釈郷土祭】--------	15
久	代	自治振興センター	【久代でげんきシリーズ】	16
新	坂	自治振興センター	【第2回とんど祭り】―――――	17
口和地	也域			
口	和	自治振興センター	【防災マップ作成事業】----------	18
高野b	也域			
上	高	自治振興センター	【虫むし教室】	19
下	高	自治振興センター	【ヨガ教室】	20
比和地	地域			
比	和	自治振興センター	【子ども書道教室】----------	21
総領地	也域			
総	領	自治振興センター	【放課後子供教室/総領町老人クラブと郷土料理教室】	22
各施	設	連絡先一覧		23

事 業 名	事業テーマ
陶芸教室	世代間交流

46,527円 (事業費の内訳:報償費30,000円・需用費14,443円・通信費2,084円)

#### 事業の概要

平成26年7月、8月の夏休み期間中に教室を開催。

#### 事業の目的

- ・陶芸を通して、子ども同士、親子間、世代間の交流を図る。
- ・想像力を高め、物づくりの楽しさを学ぶ。

## 対 象 者

参加人数

庄原自治振興区内小学校児童(1・2年生は保護者同伴)

延べ32人

開催期間

実施回数

7月26日(土)・8月11日(月)・8月16日(土)

3 回

#### 事業の内容

- ・庄原市老人クラブ連合会陶芸班の皆さんに作品づくり、色付け作業の指導、窯だしをお願いする。
- ・1・2年生は親子で参加。3年生以上の児童の保護者も希望があれば参加可能。
- ・参加者 18 名の内親子参加は、5 組。

#### 特徴的な内容

夏休み期間を利用して思い思いの物を成型し、色付け作業をして作品を仕上げる。

#### 成果·課題等

- ・一人ひとり熱心に作製し、個性のある作品がたくさんできた。
- ・「素敵な作品ができてとても満足、来年も是非参加したい」という意見がたくさんあった。
- ・自治振興区の活動報告・作品展での展示が好評だった。









事 業 名	事業テーマ
里山ふれあい活動	世代間交流

31,870円 (需要費)

#### 事業の概要

比婆牛像の修理復活活動を「たか放課後子供教室」の児童と「高地区悠遊会」の会員の共同作業により行なうとともに、昼食として簡易ストーブを利用してピザ焼きを行い、世代間交流を行った。

#### 事業の目的

かつてこの地方の特産牛として知られていた比婆牛の像を、児童と高齢者が共同で修理作業することにより、地域の農業などの歴史を伝える活動を行い、児童に地域の歴史を伝えるとともに、ピザ焼きを参加者で行うことにより、世代間の交流活動を行う。

## 対 象 者

・小学校児童の希望者及び地域の高齢者グループ

#### 参加人数

38 人

#### 開催期間

8月8日(金)

## 実施回数

1回

#### 事業の内容

- ・比婆牛像の漆喰塗り及びペンキ塗り作業
- ・ピザ焼き活動

#### 特徴的な内容

高地域の農業作業の中心的存在とともに特産品として有名であった比婆牛の存在を児童が学習することにより、地域の歴史的背景や特性を学習する機会となった。

#### 成果・課題等

- ・児童とグループ会員との交流が和気あいあいと楽しく行われ、家族間だけでなく地域の人々との交流が深められた。
- ・今後はサツマイモの共同栽培等を実施し、交流の継続を図る計画である。





事業名	事業テーマ
男性料理教室	家庭生活の一つ「食」について

#### 事 業 費

18,000円(事業費の内訳: 需用費 16,440円・通信費 1,560円)

#### 事業の概要

男性による料理教室の開催

#### 事業の目的

年々高齢化、一人暮らしが増える中で、男性にも料理を作っていただいて、これからの生活に役立ててもらいたい。

対	象	者	参	加	人	数

地域住民 男性 33 人

開催期間 実施回数

7月18日(金)・12月5日(金)・3月10日(火) 3回

#### 事業の内容

- ・庄原市役所保健医療課の栄養士を講師に、参加男性約10名が調理実習を行う。
- ・調理実習の前に、「食について・食材について」の栄養や、メニューについての説明をしてもらう。
- ・年3回 季節に合わせてメニューを考えての実施。また、男性の方からの要望も取り入れながら行う。
  - ▶1回目(7月18日 シューマイ・じゃが芋スープ・胡瓜の中華風和え・柏餅)
  - ▶2回目(12月5日 和風ピザ・じゃがもずくピザ・野菜たっぷりスープ・ぶりの照り焼き・菊花大根)
  - ▶3回目(3月10日 春の散らし寿司・魚の磯辺揚げ・吸い物・ほうれん草の白和え・アンプリン)

#### 特徴的な内容

- ・季節を考えて、旬の食材を使用している。
- ・家庭で作っている野菜など使用している。

#### 成果・課題等

- ・参加者が大体きまっているので、料理の手際がよくなった。
- ・家庭でも作ってもらいたいが、あまり実践できていないように思う。



1回目









3回目



事 業 名	事業テーマ
里山塾	世代間交流

0円

## 事業の概要

峰田自治振興区で取り組んでいる「里山塾」の一つの事業として、保育所園児を対象にジャガイモ・サツマイ モの収穫体験を実施。

## 事業の目的

世代間交流事業で地元の人と園児たちの親睦や交流を図る。

対	象	者	参	加	人	数
峰田	保育	所園児	3	6人		

開催期間 実施回数

7月5日(土)・10月11日(土) 2回

#### 事業の内容

里山で、地元の人たちと峰田保育所の園児を招いてジャガイモ・サツマイモの収穫をした。

#### 特徴的な内容

里山塾の行事で地元の人たちと園児たちが親睦と交流を深める。

#### 成果·課題等

苗の植え付けから収穫までを園児たちが体験し、地元の人達と楽しい一日を過ごした。





事業名	事業テーマ
「出逢い」応援大作戦	男女共同参画

#### 事 業 費

87,000 円 (需用費)

#### 事業の概要

振興区青年部の主催で、独身男女に出逢いの場を提供し親睦を図る。

#### 事業の目的

現代的・社会的問題の解決(独身男女に出逢いの場を提供)

対象者	参加 人 数
敷信地区の男性と区内外の女性	33 人
開催期間	実 施 回 数
8月2日 (日)	1回

#### 事業の内容

独身男女に出逢いの場を提供し親睦を図ることを目的に、スポーツ吹矢、体験ピザづくり等による交流事業を実施。

#### 特徴的な内容

スポーツ吹矢というニュースポーツを通じて自然に緊張をほぐし、班単位で協力して生地からピザを手づくりし、バーベキューとオリジナルピザで交流。

#### 成果・課題等

- ・協力して何かをするということは交流に大変効果があったと思う。
- ・アドレス交換や後日の食事会といった成果もあり、カップル成立もあった。
- ・また機会があれば参加したいという声もあった。









事 業 名	事業テーマ
ござれ市	世代間交流

9,000円 (報償費)

#### 事業の概要

食の伝承やものづくり体験、環境問題をテーマとしたフリーマーケットの開催。

## 事業の目的

住民や他地域の人との交流と地域の活性化を図る。

対 象 者	<b>1</b>	参加人	数
東地区区民		400 人	
開催期間	9	実施 回	数
11月23日(日)		1 回	

#### 事業の内容

誰でもが出店できるフリーマーケットの実施

- ・食の伝承やものづくり体験
- ・幼児には絵本の読み聞かせを絵本サークルの皆さんに場所づくりをしてもらう。
- ・ごみを減らすための環境行動の 3R (リデュース、リユース、リサイクル) に関心を持ってもらう。

#### 特徴的な内容

食の伝承やものづくり体験、環境問題等のテーマを設けることにより、地域の方に現代的課題を考える機会としていただいた。

#### 成果·課題等

- ・多数の出店があり、若い人から高齢者まで参加があった。
- ・雨天の場合の配慮を考えなければならない。









事業名	事業テーマ
山内男性料理教室	家庭料理

43,451円 (需用費)

#### 事業の概要

家庭生活に関する講座として、男性を対象とした料理教室を開催

#### 事業の目的

- ・一人で料理ができるようになるよう、基礎を学ぶ。
- ・料理を通じて会員同士との交流を深める。

対	象	者	参 加	人	数
			77 3	<b>-</b> 0	i

山内地区民・区外問わず男性 延べ56人

開催期間 実施回数

26年4月3日(木)~27年3月5日(木) 12回

#### 事業の内容

・月に1回(第1木曜日)、市保健医療課を講師に、料理の基礎や応用を学ぶ。

## 特徴的な内容

- ・旬の食材を使った料理、栄養配分や減塩等、身体のことを考えた料理も学んでいる。
- ・会員の畑で収穫した食材を材料にすることもある。
- ・毎月「やまのうち通信」に、完成した料理の写真とメニューを掲載。

#### 成果·課題等

- ・始めた頃と比べ手際が良くなり、早く作れるようになった。
- ・店で買う惣菜などの、調味料や添加物等の情報を気にするようになった。







事 業 名	事業テーマ
水辺教室(水性生物観察会)	学習活動支援

25,000円 (事業費の内訳:報償費20,000円・需用費5,000円)

#### 事業の概要

小学校児童と保護者を対象として、川北川の水生生物の採取と分類・観察をし、環境について学ぶ。

#### 事業の目的

- ・水生生物の採取と分類・観察を通して環境について学ぶ。
- ・平成22年7月16日の庄原豪雨災害により、川北川が土石流で大きな被害を受け、魚や水生生物がいなくなった。災害後4年を迎えてどの程度回復しているか検証する。

対 象 者	参加人数
小学校児童と保護者	30 人
開催期間	実施回数
7月12日 (土)	1回

#### 事業の内容

- ・水生生物の採取と分類・観察を通して環境について学ぶ。
- ・平成22年7月16日の庄原豪雨災害により川北川が土石流で大きな被害を受け、魚や水生生物がいなくなった。 災害後4年を迎えてどの程度回復しているか検証する。

## 特徴的な内容

・川に親しむことが少なくなった今、川に入って自分の手で採取することの楽しさを感じ、魚や水生生物を見ての感動と驚きなど、観察を通して地域の環境について学ぶ。

#### 成果·課題等

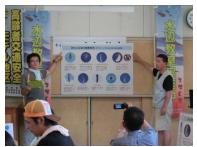
- ・低学年は滑る川底と流れに悪戦苦闘しながらも楽しみながら、生物の採取に一生懸命であった。
- ・初めて見る水生生物や魚に興味津々、分類作業にも一生懸命であった。
- ・水質の検査結果は、水質段階 I の「きれいな水」の判定。また、アカザ (テンキリ)、オヤニラミ (トウサブロウ)、ヨシノボリ (ゴリンチョ)、アブラボテ (ニガブナ)、カジカ (ナラセ) などの確認ができて感動した。
- ・今後もさらに環境が良くなっていくよう、活動の輪を広げていく。













事 業 名	事業テーマ
スポーツ吹き矢	高齢者の介護予防

47,000円 (事業費の内訳:報償費42,000円・需用費5,000円)

#### 事業の概要

・スポーツ吹き矢の体験会(月1度の練習会)

#### 事業の目的

・高齢者の自主的な健康作りを行う手段の1つとして、スポーツ吹き矢体験会を実施。

対象者	参加人数
西城自治振興区住民	延べ92 人
開催期間	実 施 回 数

開催期間

7月~3月(11月~毎月第2水曜日)

7 回

#### 事業の内容

- ・高齢者が自主的に取り組める新しい介護予防事業の模索として、高い身体能力がいらず、腹式呼吸で健康増進 を行う「スポーツ吹き矢」の体験会を開催。
- ・2回の体験会の後、参加者の要望に応えて敷信吹矢同好会を講師に招き、月1回の練習会を開催した。

#### 特徴的な内容

・体験会を2回開催した後「自分達の地域でぜひ続けたい」という声を受け、月に一度の練習会、さらに週に一 度の自主練習会と、参加者が新しい参加者を呼び、自主的に集まって健康増進をする会へと発展してきた。

#### 成果・課題等

- ・腹式呼吸を取り入れることで、動脈硬化予防、ストレス解消、免疫力アップなど健康効果が期待されているが、 何よりもゲーム感覚で楽しんで取り組み参加者が多い。
- ・自主練習日には毎回 10~20 名の参加があり、高齢者の室内スポーツとして定着。次年度からは、西城吹き矢 クラブとして自主運営教室へ移行し、助成を行う。
- ・課題として、リーダー格の参加者もいるが、参加者は毎回固定メンバーではなかったので、自主運営としての あり方は、今後探っていく必要がある。





事業名	事業テーマ
健康百貨店	健康寿命の確保

349, 404 円(事業費の内訳:報償費 90, 000 円・需用費 98, 014 円・使用料 161, 390 円)

#### 事業の概要

体操や野外活動、健康講座等を含めた健康アラカルト

#### 事業の目的

過疎化、高齢化している区内の健康寿命の確保

対 象 者	参加人数
区民全員	219 人

#### 開催期間

4月10日(木)~3月26日(木)

実施回数

#### 事業の内容

- ・健康体操(ラジオ体操を含む)
- ・認知症予防のための健康講座
- ・ノルディックウォーク、ハイキングを兼ねた野外活動
- ・生涯現役をめざしての視察研修 等へ取り組み、推進している。

#### 特徴的な内容

- ・4つのメニューにより、参加者の体力・健康状態に応じた体制を確保
- ・年度初め年間の開催回数・事業内容を計画、毎月センター発行の広報誌にて翌月の予定を案内

## 成果·課題等

- ・地道な活動であるが、健康体操は毎月定期開催することで区民に定着した。
- ・4つのメニューにより、参加者からはニーズに応じた選択が可能と好評である。
- ・女性の参加者が大半を占め、また参加者が一部に限定されており、今後区民へ広める必要がある。



事 業 名	事業テーマ
しごんぼ隊	子どもの育成

317,916 円(内訳:報償費88,000円・需用費86,278円・通信運搬費22,238円・借上料121,400円)

#### 事業の概要

毎月1回、地域の方を講師に迎え、自然観察、料理、スポーツなどの体験学習を実施する。

#### 事業の目的

週末活動の支援。また、さまざまな体験をとおし子ども同士の連帯感やお年寄りとの世代間交流を深め、たくましい子どもの育成を図る。

対 象 者	参加人数
東城小学校児童	延べ 230 人
開催期間	実 施 回 数

通年 10 同

#### 事業の内容

- 第1回 自然観察「バードウォッチング」
- ・第2回 東城老人大学との世代間交流「グラウンドゴルフ」
- ・第3回 自然体験「川の生物観察と魚焼き体験」
- ・第 4回 サマードリームキャンプ
- ・第5回 ふるさと探訪「神社めぐり」
- ·第6回 芸術文化体験「絵手紙」
- 第7回 クリスマス会
- ・第8回 ウーマンカレッジとの世代間交流・伝統料理体験「ほとぎつくり」
- ・第9回 日帰り研修「鞆の浦散策とちくわつくり体験」
- ・第10回 ファイナルゲーム「ゲームと風船とばし」

## 特徴的な内容

東城町内へ出かけての自然・文化体験学習や、世代間交流を通しふるさと愛を育む。

#### 成果・課題等

- ・地域の方と子どもたちの交流の場になっている。
- ・1年生から6年生までが一緒に行動することで、子ども達同志の交流や連帯感・責任感がうまれた。
- ・東城町について学習する中で、ふるさと愛を育み将来のリーダー育成、定住へつながる。
- ・来年度はより多くの児童に参加してもらうために、各種団体との連携を図る。













事業名	事業テーマ
地域づくり視察研修旅行	地域の環境と産業を考える

242,990円(事業費の内訳: 需用費 129,600円・借上費 113,390円

#### 事業の概要

- ①岡山県真庭市のバイオマスタウン構想を視察研修。
- ②岡山県の天然記念物である醍醐桜に対する地域の取り組みの視察研修。

#### 事業の目的

- ・東城町で「木の駅プロジェクト」が始まるにあたり、林業を地域の活性化に生かす方法を考える。
- ・木材の廃棄する部分をエネルギーとして利用するバイオマス施設を見学し、環境保護について考える。
- ・当自治振興区には「小奴可の要害桜」「千鳥別尺のヤマザクラ」の2本の県指定天然記念物の桜の名木があるが、これらの保存活動の参考にする。
- ・ 地域住民の懇親

対 象 者	参加人数
小奴可の里自治振興区区民	26 人
開催期間	実施回数
6月25日 (水)	1回

## 事業の内容

- ・地域の木材資源を生かした集成材工場の見学。
- ・集成材工場から出た木くず、ペレットなどを利用した温水プール、真庭市役所などバイオマス施設の見学。
- 勝山町町並み保存地区の見学。
- ・岡山県指定天然記念物醍醐桜の見学とNPO法人醍醐桜未来プロジェクトの代表者に保存活動等の話を聞いた。

#### 特徴的な内容

真庭市が市民をあげて取り組んでいるバイオマスタウン構想と醍醐桜の保存活動について、地域の方が真剣に 取り組んでいることを詳細に研修することができた。

#### 成果・課題等

- ・林業振興、環境保護への意識が高まった。
- ・木の駅プロジェクトに登録しようかという声が聞かれた。
- ・醍醐桜未来プロジェクトの方の話は、小奴可の里の桜を保護し活用する上で参考になる点が多かった。
- ・林業がメインテーマだったためか、女性の参加者が少なかった。





事業名	事業テーマ
八幡の収穫祭	ふれあいの祭典

59,817円(事業費の内訳:需用費50,680円・借上料9,137円)

#### 事業の概要

地元で収穫した野菜、加工品の販売、軽食の出店。

#### 事業の目的

八幡の秋の収穫に合わせ、特産品の販売及び軽食などの出店により、地域のにぎわいと特産品開発の意識向上を図る。

対 象 者

参加人数

地域、地域外の一般住民

200 人

開催期間

実施回数

11月9日(日)

1回

#### 事業の内容

- ・地域の特産品販売
- 軽食等の出店
- 餅つきの実演
- ・バザー

#### 特徴的な内容

文化祭、小学校の発表会を同時実施することにより相乗効果が発揮され参加者が増加した

#### 成果·課題等

もっと集客力があり、地域の活性化に繋がる行事内容を検討する

#### 写 直







事業名	事業テーマ
粟田放課後子供教室交流	夏休み体験教室

56, 156 円 (事業費の内訳: 需用費 9, 416 円・旅費 13, 600 円・費用弁償 33, 140 円)

#### 事業の概要

ワクワク学び隊 (大学生ボランティアチーム) を講師に迎え、放課後子供教室の子供達と粟田小学校の児童が工作や実験を体験する。

#### 事業の目的

夏休み体験事業として、工作や実験の実技を大学生から学び、交流する力と社会性を養うとともに探究心や創造性を高め、心を豊かに育てる。

対 象 者	参加人数
粟田放課後子供教室、粟田小学校児童	40 人

開催期間 実施回数

8月5日(火)・8月21日(木) 2回

#### 事業の内容

第1回目・万華鏡づくり

・大学生との交流

第2回目・シャボン玉の実験

スライムとプラネタリウム作り

・大学生との交流

#### 特徴的な内容

夏休みを利用して、大学生のフレキシブルな発想と、若い行動力で子供達に新たな体験をしてもらい、子供の想像力を磨き、発想力や柔軟性を育んでいく。

#### 成果·課題等

- ・子供達は集中して工作に取り組み「家でも作ってみたい。」と、満足していた。
- ・日常あまり接することのない学生たちと交流し、子供達にとっては貴重な体験が来出た。今後も、様々な世代の ネットワークを新たに築いていき、交流の機会を提供し、体験事業を進めたい。







事業名	事業テーマ
第 35 回帝釈郷土祭	発表会・敬老会

406,840円(事業費の内訳:報償費 13,748円・需用費 317,492円・賃借料 75,600円)

#### 事業の概要

日頃の生涯学習のステージ発表と作品展示。敬老会を同時に開催し、敬老のお祝いの記念品の贈呈とステージ 発表を鑑賞してもらって一日楽しく過ごしてもらう。

#### 事業の目的

生涯学習の発表の場の提供と地域・家族のきずなを深め交流を図る。

2	対 象	者	参加人数
	地域全員		約 200 人
	開催期	間	実施回数
	11月31日	1 (日)	1回

#### 事業の内容

・ステージ

筝曲教室の演奏・各支部の出しもの・演奏者を招聘しみんなで歌う

• 展示会

教室やサロン等で作った作品の展示

#### 特徴的な内容

- ・第35回を迎え、毎年工夫を凝らしたステージの出し物で笑ったり、感激したり楽しい一日である。
- ・敬老事業を同時開催としているので、対象者全員に招待状を出し、敬老記念品を贈っている。

#### 成果·課題等

- ・地域の皆が集まることによって、絆が深まり、さらには活力にもなっている。
- ・高齢化により、ステージに立てる人が少なくなり、継続が危ぶまれている。
- ・敬老記念品選びに苦慮している。記念品は対象者全員でなくても良いのかもしれない。

#### 写 直













事業名	事業テーマ
久代でげんきシリーズ	健康づくり

113,436円(事業費の内訳: 需用費60,000円・通信運搬費3,000円・借上料50,436)円

#### 事業の概要

久代地域の皆さんの健康を目指し、健康講座等を開催。

#### 事業の目的

久代地域の健康と知識の向上を目指して実施。

対象者	参加人	数
久代地域の一般の方	15 人	

開催期間 実施回数

4月1日~3月31日 7回

#### 事業の内容

久代でげんきシリーズ

- ・骨粗鬆症の学習と料理
- ・高齢者が食べやすい料理と学習
- こけまぁ~で体操
- ・神経痛に良い学習と料理
- ・お正月料理で爽やかにお正月を迎えよう
- ・お正月用寄せ植え 心も楽しく
- ・テーブルマナー教室 楽しくマナーを学ぼう

#### 特徴的な内容

・心と身体の元気を楽しく学ぶ事・知識の向上を目指している。

## 成果·課題等

- ・成果:26年度は、参加人数が増え健康・学習・みんなで楽しむ事への関心が高まってきたのを感じる。
- ・課題:若い世代の関心が低い事が、伺える。





事業名	事業テーマ
第2回とんど祭り	民俗行事伝承と世代間交流

#### 事 業 費

8,334円 (需用費)

#### 事業の概要

新坂に古くから伝わる民俗行事を伝承していくために、地域をあげての「とんど祭り」開催

#### 事業の目的

地域伝統行事が全国的に失われつつある中、貴重な民俗行事を後世に継承していくため、世代間をこえた地域行事として位置づけ、とんど祭りを開催する。

対 象 者	参加 人 数
新坂地域住民	31 人
開催期間	実施回数

#### 事業の内容

- ・事前にとんど祭りの意義を広報するなかで、地域内の皆さんから多くの注連飾り等の正月飾りや書き初めの作品を自治振興センターに持ち寄ってもらった。
- ・当日は、「とんど」の芯となる青竹を組む作業など、高齢者の方が子どもたちに助言するなかで、実際に子どもたちに作業体験をさせた。その後、「とんど焼き」の火でお餅を焼きぜんざいにして参加者全員で食べながら地域交流を深めた。

#### 特徴的な内容

・郷土に伝わる民俗行事の重要性と意義を子どもたちに高齢者の方から教えていただきながら、直接に子どもたちが実体験する事業としている。

#### 成果・課題等

・急激的な社会構造の変化による核家族化と少子高齢化社会の進行により、地域に伝わる貴重な民俗行事や伝統 行事が失われつつある現状のなかで、古来の形態による「とんど祭り」事業を実施したことにより、民俗行事・ 伝統行事の保存と伝承が図られるとともに、世代間交流が図られ地域連帯感が高揚された。



事 業 名	事業テーマ
防災マップ作成事業	地域の防災について考える

29,507円 (事業費の内訳:報償費20,000円・需用費9,507円)

#### 事業の概要

災害に備えることの重要性を考えるため、講演会を開き、その後、住民自らが防災マップを作成する。作成した防災マップは各自治会の集会所等に貼りだし、災害時や避難訓練で活用する。

#### 事業の目的

自治会ごとの情報を掲載した防災マップを作成することを通じて地域住民の防災意識を高め、高齢者の見守り活動に寄与する。

対象者	参加人数
口和在住者	延べ160人
開催期間	実施回数
8月26日(火)~12月21日(日)	5 回

#### 事業の内容

〔防災研修会〕

- ・講演会 「大規模災害に備えて」 講師: 籠田 純士 (減災塾 塾長)
- ・炊出し訓練

〔第1回防災マップ研修会8月26日〕

- ・防災マップ作成についての説明 講師:籠田 純士(減災塾 塾長)
- 〔第2回防災マップ研修会8月31日〕
  - ・防災マップの作り方を考える 講師: 籠田 純士 (減災塾 塾長)

「第3回防災マップ研修会 11月8日〕

- ・地図、危険地域等の確認 講師: 籠田 純士 (減災塾 塾長)
- 〔第4回防災マップ研修会 12月21日〕
  - ・防災マップの完成 講師:籠田 純士 (減災塾 塾長)
  - ・災害時要支援者の確認

#### 特徴的な内容

地域住民が危険個所や避難経路などを調査し、実際に地図を作成。作成した地図は集会所等に貼りだし、継続的に利用する。

#### 成果·課題等

- ・成果:実際に地図を作成し目に見える場所に掲示することで、住民の防災意識醸成の一助となった。
- ・課題:住居の変更等、地図の更新をどのように行い、地図を長く活用していくことができるかが課題。

## 写 真



今年費は例年より早く帳所入り、各物で想定4の火きが参照に発生しています。 圧原市では昨年前以マップを各戸に配布されましたが、 日治会ごとにより即しいマップな今後作成していまかいと計画しています。 街災マップに関する作成業操や防災利騰の向とかための 平型と大会社は、各方で高限資料を表類します。

- 日時 平成20年7月4日(金) 19:00~21:00
- 広島県庄市口利町向泉 984-4 四額、合わけ・お田切み先 : 0824-8T-2213 (口利用沖昇選択) 又は、日沖会役
  - 建溶分・ ● 建溶分・ 調剤: 減災勤 監長 難田 純士 氏 (元後上白衛官・元広島県危機管理対策監)
  - 炊きだし 口和自治療員区 女性部が飲き出し(おむすび・味噌汁)を行います。

主催:口和自治振興区(環境福祉部·女性部



危険個所を色分けして記入↑





**児地の確認** 

事業名	事業テーマ
虫むし教室 自然界の不思議を解明しよう	子供の学習活動支援

93,298円 (事業費の内訳:報償費44,000円・需用費23,706円・借上料ほか25,592円)

#### 事業の概要

昆虫を採集し、採集した昆虫の形や姿を観察し、名称を調べ標本箱に整理して収める。

#### 事業の目的

自然に興味を持ち、自分の力で解決しようとする態度や最後までやりとげようとする力を養う。

対象者	参加人数
3年生以上の小学生	10人
開催期間	実施回数

7月28日(月)~8月26日(火) 3回

#### 事業の内容

- ・昆虫の採集
- ・採集した昆虫を標本にする。

## 特徴的な内容

- ・見て、聞いて、感じて五感を使って学ぶ教室。指導は昆虫採集に留まらず、学ぶ姿勢・態度・鉛筆の持ち方にまで及ぶ。
- ・自分で採集した昆虫は、最後まで責任をもって標本箱に収める。

## 成果·課題等

- ・子どもたちは、計画された時間を過ぎてもその日の課題が終わるまでやり抜く。
- ・昆虫の標本の仕方を本格的に学ぶのはもちろんのこと、最後までやりきった満足感を味わっていた。
- ・保護者の方からも、出来上がった標本箱を見て「すばらしい」と評価していただいた。









事 業 名	事業テーマ
ヨガ教室	体力向上

65,200円 (事業費の内訳:報償費60,000円・需用費5,200円)

#### 事業の概要

市民を対象としたヨガ教室の実施。

#### 事業の目的

無理のない体力作りを行い、健康づくり、体力向上を目指す。

対 象	者	参 加 人	数
市民		近べ76 A	

開催期間 実施回数

7月1日(火)~9月30日(火) 12回

#### 事業の内容

リラックス効果のある音楽の中で、講師の話から始まり、徐々にヨガポーズへと入る。終盤は少し難易度の高いヨガポーズとなるが、無理のないよう個々に指導を受ける。

## 特徴的な内容

個々の体力や経験に合わせて指導を受けることができる。

#### 成果·課題等

- ・週1回のヨガで、心身ともにリラックスでき体幹も鍛えることができた。
- ・好評を受け今年度も6月より開催する。

#### 写 直





事 業 名	事業テーマ
子ども書道教室	伝統の継承・学びの場の提供

98,000円 (事業費の内訳:報償費53,000円・需用費45,000円)

#### 事業の概要

小学生を対象とした書道教室

#### 事業の目的

小学生に伝統芸術としての書道を学ぶ場を提供する。

対 象 者	参加人数
小学生	165 人
開催期間	実 施 回 数
通年	16 回

#### 事業の内容

- ・主に比和地域の小学生を対象とした書道教室。
- ・通常は毎月1回放課後に開催している。学校の長期休業中は帰省中の小学生も対象としている。
- ・作品は自治振興センターに掲示して、来館者に見てもらっている。
- ・希望者は書道展に出品した。

## 特徴的な内容

- ・1年生から毛筆を始めることで、ひとりひとりに正しい筆の持ち方を指導できる。
- 講師の指導をうけることで、マナーも身につく。

#### 成果·課題等

- ・作品を重ねて貼りだすことにより、上達ぶりを本人も保護者も確認でき、好評である。
- ・参加者が多い講座なので、今後も続けて行きたい。







事業名	事業テーマ
放課後子供教室/総領町老人クラブと郷土料理教室	世代間交流

7,000円(報償費)

#### 事業の概要

放課後子供教室の児童と総領町老人クラブとで郷土料理教室を開催

#### 事業の目的

異世代が共に活動し、お互いを理解していく世代間交流でコミュニケーションを学ぶ

対 象 者	参加人数
放課後子供教室・総領町老人クラブ	15人
開催期間	実施回数
8月25日 (火)	1回

#### 事業の内容

- ・総領町老人クラブと一緒に郷土料理をつくる。 メニュー(三食おはぎ・きゅうりの酢の物・そうめん汁)
- ・提供として老人クラブ手作りの紫蘇ジュース

#### 特徴的な内容

・メニューに必要な食材を知り、調理方法を知り、自分で作る事ができる力を身につける。

#### 成果·課題等

- ・老人クラブの方の穏やかな接し方で、子供達の普段見ることのない表情や、真剣な顔を見ることができた。
- ・掃除、片付けなど、みんなが協力し合って役割分担を決めてできた。
- ・普段、接点がなくふれあいの場も少ない。このような事業を今後も考えていかないといけない。

#### 写 直



## 連絡先一覧

	施設	名	郵便番号	住 所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	自治振興	センター	727-0013	庄原市西本町2-17-15	72-3777	shobara-ziti@peace.ocn.ne.jp
高	自治振興	レンター	729-5811	庄原市高町821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss@gmail.com
本村	自治振興	センター	727-0623	庄原市本村町1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi@gmail.com
峰田	自治振興	レンター	727-0622	庄原市峰田町1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi@gmail.com
敷信	自治振興	レンター	727-0014	庄原市板橋町203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi@gmail.com
東	自治振興	レンター	727-0023	庄原市七塚町11-2	72-2854 (3090)	higashi.jichi@gmail.com
山内	自治振興	レンター	729-6131	庄原市山内町813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi@gmail.com
北	自治摄	センター	727-0203	庄原市川北町154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss@gmail.com
西城	自治振興	レンター	729-5722	庄原市西城町大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi@gmail.com
八鉾	自治振興	レンター	729-5601	庄原市西城町小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko. jichi@u-broad. jp
東城	自治振興	レンター	729-5121	庄原市東城町川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo@aioros.ocn.ne.jp
小奴耳	「自治振興	レンター	729-5502	庄原市東城町内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka@vesta.ocn.ne.jp
八幡	自治摄	レンター	729-5456	庄原市東城町森2668-2	4-0205 (3320)	yawata@vesta.ocn.ne.jp
田森	自治振興	レンター	729-5127	庄原市東城町粟田1715-1	2-0661 (3330)	tamori@vesta.ocn.ne.jp
帝釈	自治振興	レンター	729-5244	庄原市東城町帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku@vesta.ocn.ne.jp
久代	自治振興	レンター	729-5122	庄原市東城町久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro@vesta.ocn.ne.jp
新坂	自治振興	レンター	729-5132	庄原市東城町三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka@vesta.ocn.ne.jp
口和	自治振興	レンター	728-0502	庄原市口和町向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwajichi@gmail.com
上高	自治振興	レンター	727-0402	庄原市高野町新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi@gmail.com
下高	自治振興	レセンター	727-0423	庄原市高野町下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8@gmail.com
比和	自治摄	レンター	727-0301	庄原市比和町比和1119-1	85–2600 (3701)	hiwa.jichi@gmail.com
総領	自治振興	レンター	729-3703	庄原市総領町下領家278	88-3067 (3502)	info@souryou-jichi.net
	高本峰敷東山北西八東小八田帝久新口上下比	E A L L L L L L L L L L L L L L L L L L	庄原 自治振興センター 高 自治振興センター 本村 自治振興センター 中田 自治振興センター 東 自治振興センター 東 自治振興センター 北 自治振興センター 北 自治振興センター 八雄 自治振興センター 八城 自治振興センター 八幡 自治振興センター 八幡 自治振興センター 不釈 自治振興センター 大代 自治振興センター 大代 自治振興センター 大代 自治振興センター 大代 自治振興センター 大代 自治振興センター 上高 自治振興センター 上高 自治振興センター	庄原 自治振興センター 727-0013 高 自治振興センター 729-5811 本村 自治振興センター 727-0623 峰田 自治振興センター 727-0622 敷信 自治振興センター 727-0014 東 自治振興センター 727-0023 山内 自治振興センター 729-6131 北 自治振興センター 729-5722 八鉾 自治振興センター 729-5722 八鉾 自治振興センター 729-5601 東城 自治振興センター 729-5121 小奴可自治振興センター 729-5502 八幡 自治振興センター 729-5456 田森 自治振興センター 729-5456 田森 自治振興センター 729-5127 帝釈 自治振興センター 729-5127 帝釈 自治振興センター 729-5122 新坂 自治振興センター 729-5132 口和 自治振興センター 729-5132 口和 自治振興センター 729-5132	唐原 自治振興センター 727-0013 庄原市西本町2-17-15 高 自治振興センター 729-5811 庄原市高町821-4 本村 自治振興センター 727-0623 庄原市本村町1234-1 峰田 自治振興センター 727-0622 庄原市権田町1445-2 敷信 自治振興センター 727-0014 庄原市板橋町203-6 東 自治振興センター 727-0023 庄原市七塚町11-2 山内 自治振興センター 729-6131 庄原市山内町813-4 北 自治振興センター 729-5722 庄原市西城町大佐734  自治振興センター 729-5722 庄原市西城町小鳥原615-1 東城 自治振興センター 729-5601 庄原市西城町小鳥原615-1 東城 自治振興センター 729-5121 庄原市東城町加東1188-2 小奴可自治振興センター 729-5502 庄原市東城町和1100-1 八幡 自治振興センター 729-5456 庄原市東城町薬日1715-1 帝釈 自治振興センター 729-5127 庄原市東城町平衆2668-2 田森 自治振興センター 729-5127 庄原市東城町平飛未渡2021 久代 自治振興センター 729-5122 庄原市東城町三坂330 口和 自治振興センター 729-5132 庄原市東城町三坂330 口和 自治振興センター 728-0502 庄原市 1和町向泉934-4 上高 自治振興センター 727-0402 庄原市高野町新市1283 下高 自治振興センター 727-0402 庄原市高野町下門田8 比和 自治振興センター 727-0401 庄原市高野町下門田8	上原 自治振興センター 727-0013   庄原市画本町2-17-15   72-3777   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0377   72-0378   73-2743   73

市外局番 0824 (東城地域 08477)

## 生涯学習事業実践事例集

~自治振興センターで行う生涯学習事業~ (平成 26 年度事業) 平成 27 年 7 月発行



庄原市教育委員会 生涯学習課社会教育係

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10番1号

電話:0824-73-1188 e-mail:syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp